



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月3日
上場取引所 東

上場会社名 三井造船株式会社
 コード番号 7003 URL <http://www.mes.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）田中 孝雄
 問合せ先責任者（役職名）財務経理部長（氏名）塩見 裕一 TEL 03 (3544) 3225
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 557,934 | 26.4 | 10,364 | △40.0 | 11,580 | △48.4 | 9,248 | △12.0 |
| 26年3月期第3四半期 | 441,275 | 9.2 | 17,261 | △9.6 | 22,444 | 19.7 | 10,507 | 26.5 |

（注）包括利益 27年3月期第3四半期 8,810百万円（△62.1%） 26年3月期第3四半期 23,275百万円（219.3%）

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 11.34 | 11.33 |
| 26年3月期第3四半期 | 12.70 | 12.69 |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 1,019,160 | 330,425 | 22.0 |
| 26年3月期 | 932,896 | 323,608 | 23.6 |

（参考）自己資本 27年3月期第3四半期 223,790百万円 26年3月期 220,439百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 2.00 | 2.00 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 27年3月期（予想） | | | | 2.00 | 2.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|-------|--------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 820,000 | 22.4 | 18,000 | △9.9 | 22,000 | △16.0 | 12,000 | △72.0 | 14.71 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年3月期3Q | 830,987,176株 | 26年3月期 | 830,987,176株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期3Q | 22,653,297株 | 26年3月期 | 4,262,759株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 27年3月期3Q | 815,842,884株 | 26年3月期3Q | 827,413,434株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| (企業結合等関係) | 10 |
| 4. 補足資料 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国においては回復基調にありますが、欧州では景気は持ち直しの動きがあるものの一部に停滞感が見られ、中国では成長率鈍化が鮮明になるなど、地域によってバラツキがあり、全体的には景気の先行きは不透明な状況にあります。国内経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和策に伴う円安・株高などの効果によって、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善が進むなかで、2014年4月に実施された消費税率の引き上げや輸入原材料価格の上昇等の影響もあって、景気回復への足取りは今一つ力強さに欠けるものとなっております。

このような状況下、当社グループは、14中計(2013年7月から2017年3月までの経営計画)の2年目にあたり、(1)製造事業の変革(2)エンジニアリング事業の拡大(3)事業参画・周辺サービス事業の拡大という3本の戦略の柱と(4)経営基盤の強化からなる基本方針のもと、グループ総合力やグローバル展開による事業拡大のための体制構築に取り組み、事業領域の変革とビジネスモデルの変革を推し進めております。

当第3四半期連結累計期間の受注高は、前年同期と比べて1,510億23百万円減少の3,823億66百万円となりました。

売上高は、前年同期と比べて1,166億58百万円増加の5,579億34百万円となりました。営業利益は、その他部門を除く各セグメントで減益となったことにより、前年同期と比べて68億96百万円減少の103億64百万円となりました。経常利益は、営業利益の減少に加え、為替差益が減少したことなどにより、前年同期と比べて108億64百万円減少の115億80百万円となりました。四半期純利益は、法人税等及び少数株主利益の減少などにより、前年同期と比べて12億58百万円減少の92億48百万円となりました。

報告セグメント別の状況は次のとおりです。

(船舶海洋)

受注高は、ばら積み貨物運搬船、FPSO(浮体式石油生産貯蔵積出設備)の追加工事やオペレーションサービスなどを受注しましたが、前年度はFPSOの建造工事を受注したこともあり、前年同期と比べて1,586億円減少の1,590億39百万円となりました。売上高は、ばら積み貨物運搬船、FPSOなどの建造工事を中心に前年同期と比べて900億38百万円増加の3,399億56百万円となり、営業利益は、52億14百万円減少の43億73百万円となりました。

(機械)

受注高は、コンテナクレーン、船用ディーゼル機関などが増加したことにより、前年同期と比べて318億53百万円増加の1,030億53百万円となりました。売上高は、船用ディーゼル機関、コンテナクレーン、各種産業用機械、アフターサービス事業などにより前年同期と比べて8億34百万円減少の1,011億37百万円となり、営業利益は、前年同期と比べて2億47百万円減少の71億67百万円となりました。

(エンジニアリング)

受注高は、太陽光発電所設備や化学プラントなどの受注を積み上げましたが、海外向け大型化学プラントや海外子会社においてディーゼル発電設備及びバイオマス発電設備を受注した前年同期に比べて335億25百万円減少の872億9百万円となりました。売上高は、化学プラントや発電設備の建設工事が進捗したことにより、前年同期と比べて119億11百万円増加の824億92百万円に、営業損失は、前年同期と比べて29億53百万円増加の38億14百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ862億64百万円増加の1兆191億60百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が752億47百万円、仕掛品が116億62百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が86億17百万円、有形固定資産が33億60百万円それぞれ減少したことなどによりです。

負債は、支払手形及び買掛金が463億25百万円、前受金が183億49百万円及び社債が100億円それぞれ増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が41億16百万円減少したことなどにより前連結会計年度末と比べ794億47百万円増加の6,887億35百万円となりました。

純資産は、四半期純利益や少数株主持分が増加した一方、繰延ヘッジ損益が減少したことなどにより前連結会計年度末と比べ68億16百万円増加の3,304億25百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年11月6日に公表いたしました連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日（平成27年2月3日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から複数の割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が2,273百万円減少、及び退職給付に係る負債が300百万円増加し、利益剰余金が1,593百万円減少しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

（税金費用の計算方法の変更）

従来、当社及び一部の連結子会社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度より連結納税制度を適用したことから、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当社及び一部の連結子会社において、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（4）追加情報

当社及び一部の連結子会社において、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 89,238 | 80,621 |
| 受取手形及び売掛金 | 211,462 | 286,710 |
| 商品及び製品 | 2,602 | 3,135 |
| 仕掛品 | 27,279 | 38,941 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,928 | 9,922 |
| その他 | 72,686 | 66,179 |
| 貸倒引当金 | △3,211 | △1,672 |
| 流動資産合計 | 406,985 | 483,838 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 土地 | 258,080 | 258,045 |
| その他（純額） | 121,602 | 118,276 |
| 有形固定資産合計 | 379,683 | 376,322 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 4,923 | 4,722 |
| その他 | 6,900 | 6,386 |
| 無形固定資産合計 | 11,824 | 11,108 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 136,884 | 150,280 |
| 貸倒引当金 | △2,481 | △2,388 |
| 投資その他の資産合計 | 134,402 | 147,892 |
| 固定資産合計 | 525,910 | 535,322 |
| 資産合計 | 932,896 | 1,019,160 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 178,235 | 224,561 |
| 短期借入金 | 21,876 | 22,313 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 33,969 | 29,853 |
| 未払法人税等 | 5,446 | 7,076 |
| 前受金 | 58,744 | 77,093 |
| 保証工事引当金 | 6,436 | 7,313 |
| 受注工事損失引当金 | 12,194 | 9,372 |
| その他の引当金 | 7,594 | 6,359 |
| 資産除去債務 | - | 0 |
| その他 | 43,970 | 40,234 |
| 流動負債合計 | 368,469 | 424,178 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 30,000 | 40,000 |
| 長期借入金 | 101,986 | 102,860 |
| 役員退職慰労引当金 | 369 | 369 |
| その他の引当金 | 1,040 | 1,113 |
| 退職給付に係る負債 | 10,275 | 10,765 |
| 資産除去債務 | 1,113 | 1,284 |
| その他 | 96,032 | 108,164 |
| 固定負債合計 | 240,818 | 264,556 |
| 負債合計 | 609,287 | 688,735 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 44,384 | 44,384 |
| 資本剰余金 | 18,178 | 18,247 |
| 利益剰余金 | 136,288 | 142,440 |
| 自己株式 | △854 | △4,758 |
| 株主資本合計 | 197,996 | 200,314 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 7,360 | 11,182 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2,649 | △8,420 |
| 土地再評価差額金 | 22,515 | 22,363 |
| 為替換算調整勘定 | 4,251 | 6,173 |
| 在外子会社の退職給付債務等調整額 | △73 | △72 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △8,962 | △7,750 |
| その他の包括利益累計額合計 | 22,442 | 23,475 |
| 新株予約権 | 67 | 128 |
| 少数株主持分 | 103,101 | 106,506 |
| 純資産合計 | 323,608 | 330,425 |
| 負債純資産合計 | 932,896 | 1,019,160 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 441,275 | 557,934 |
| 売上原価 | 392,192 | 514,745 |
| 売上総利益 | 49,082 | 43,188 |
| 販売費及び一般管理費 | 31,821 | 32,824 |
| 営業利益 | 17,261 | 10,364 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,080 | 2,163 |
| 受取配当金 | 832 | 1,093 |
| 持分法による投資利益 | 2,614 | 2,043 |
| 為替差益 | 2,416 | 306 |
| その他 | 2,230 | 2,075 |
| 営業外収益合計 | 10,174 | 7,683 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,821 | 2,094 |
| 退職給付会計基準変更時差異の処理額 | 1,473 | 1,463 |
| デリバティブ評価損 | 367 | 1,646 |
| その他 | 1,328 | 1,263 |
| 営業外費用合計 | 4,990 | 6,467 |
| 経常利益 | 22,444 | 11,580 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産処分益 | 1,167 | 38 |
| 投資有価証券売却益 | 6 | 126 |
| 国庫補助金 | 800 | - |
| 負ののれん発生益 | - | 4,767 |
| 特別利益合計 | 1,974 | 4,932 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 356 | 237 |
| 減損損失 | 1,629 | 2,365 |
| 投資有価証券売却損 | 0 | 5 |
| 投資有価証券評価損 | 60 | 0 |
| 固定資産圧縮損 | 800 | - |
| 事業整理損 | - | 1,116 |
| 関係会社清算損 | - | 179 |
| 和解金 | 752 | - |
| 特別損失合計 | 3,599 | 3,904 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 20,819 | 12,607 |
| 法人税等 | 8,589 | 6,540 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 12,230 | 6,067 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 1,723 | △3,181 |
| 四半期純利益 | 10,507 | 9,248 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日） | 当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日） |
|------------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 12,230 | 6,067 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2,374 | 4,480 |
| 繰延ヘッジ損益 | △231 | △3,876 |
| 為替換算調整勘定 | 5,118 | △1,227 |
| 在外子会社の退職給付債務等調整額 | 34 | 0 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 1,201 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 3,749 | 2,164 |
| その他の包括利益合計 | 11,045 | 2,743 |
| 四半期包括利益 | 23,275 | 8,810 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 20,000 | 10,434 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 3,274 | △1,623 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成26年4月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式19,237千株(3,999百万円)の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が4,758百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------------|---------|---------|----------|---------|--------------|---------|---------|------------------------------------|
| | 船舶海洋 | 機械 | エンジニアリング | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 249,917 | 101,971 | 70,580 | 422,470 | 18,805 | 441,275 | — | 441,275 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 164 | 4,468 | 22 | 4,655 | 1,057 | 5,712 | (5,712) | — |
| 計 | 250,081 | 106,440 | 70,603 | 427,125 | 19,862 | 446,988 | (5,712) | 441,275 |
| セグメント利益 又はセグメント 損失(△) | 9,588 | 7,415 | △860 | 16,142 | 1,118 | 17,261 | — | 17,261 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、不動産賃貸業、各種サービス業等を含めております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

| | 船舶海洋 | 機械 | エンジニアリング | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|-------|----|----------|-----|-------|-------|
| 減損損失 | 1,375 | — | — | — | 254 | 1,629 |

「船舶海洋」において、当社における造船事業の事業環境の悪化により、将来キャッシュ・フローが事業用資産の帳簿価額を下回ることが予想されるため、回収可能価額まで減額しております。「全社」において、大分県大分市ほか一部遊休資産(土地)の市場価格が下落したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------------|---------|---------|----------|---------|--------------|---------|---------|------------------------------------|
| | 船舶海洋 | 機械 | エンジニアリング | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 339,956 | 101,137 | 82,492 | 523,585 | 34,348 | 557,934 | - | 557,934 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 536 | 5,030 | 35 | 5,602 | 1,230 | 6,833 | (6,833) | - |
| 計 | 340,492 | 106,168 | 82,527 | 529,188 | 35,579 | 564,767 | (6,833) | 557,934 |
| セグメント利益 又はセグメント 損失(△) | 4,373 | 7,167 | △3,814 | 7,726 | 2,638 | 10,364 | - | 10,364 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、輸送用機器関連事業、システム開発事業、不動産賃貸業、各種サービス業等を含めております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社において製品所管部門を見直したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、「エンジニアリング」の一部製品の報告セグメントを「機械」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

| | 船舶海洋 | 機械 | エンジニアリング | その他 | 全社・消去 | 合計 |
|------|-------|-----|----------|-----|-------|-------|
| 減損損失 | 1,981 | 220 | - | - | 164 | 2,365 |

「船舶海洋」において、当社における造船事業の事業環境の悪化により、将来キャッシュ・フローが事業用資産の帳簿価額を下回ることが予想されるため、回収可能価額まで減額しております。また、連結子会社の三井海洋開発（株）で製作しております浮体式潮流・風力ハイブリッド発電機の回収可能価額の見積もりを保守的に評価した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。「機械」において、千葉県市原市ほか一部遊休資産の将来キャッシュ・フローが帳簿価額を下回ることが予想されるため、回収可能価額まで減額しております。「全社」において、大分県大分市ほか一部遊休資産（土地）の市場価格が下落したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「その他」セグメントにおいて、4,767百万円の負ののれん発生益を計上しております。これは主に、当社の連結子会社である昭和飛行機工業（株）の株式を追加取得したことによります。

（企業結合等関係）

共通支配下の取引等

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

名称 昭和飛行機工業株式会社

事業の内容 輸送用機器関連の製造・販売、事務所用ビル、商業施設等の不動産賃貸など

(2) 企業結合日

平成26年12月2日（第3四半期連結会計期間末をみなし取得日としております）

(3) 企業結合の法的形式

少数株主からの株式追加取得

(4) 結合後企業の名称

名称の変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

グループ経営のより一層の強化と、同社の独立性を維持できる範囲で相乗効果を最大化させるため、少数株主が保有する株式を当社が取得したものであります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日公表分）に基づき、共通支配下の取引等のうち、少数株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

(1) 取得原価及びその内訳

取得の対価 1,223百万円

取得に直接要した費用 2百万円

取得原価 1,225百万円

(2) 発生した負ののれんの金額及び発生原因

① 発生した負ののれんの金額

4,759百万円

② 発生原因

追加取得した子会社株式の取得原価が、当該追加取得に伴う少数株主持分の減少額を下回ったためであります。

4. 補足資料

受注及び販売の状況

受 注 高

(単位：百万円)

| 区 分 | 前第3四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年12月31日) | | 当第3四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日～ 平成26年12月31日) | | 増減額 | 増減比% | 前連結会計年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日) | |
|----------|---|-------|---|-------|----------|-------|---------------------------------------|-------|
| | 金 額 | 構成比% | 金 額 | 構成比% | | | 金 額 | 構成比% |
| 船 舶 海 洋 | 317,640 | 59.6 | 159,039 | 41.6 | △158,600 | △49.9 | 679,411 | 61.3 |
| 機 械 | 71,199 | 13.3 | 103,053 | 27.0 | 31,853 | 44.7 | 130,728 | 11.8 |
| エンジニアリング | 120,734 | 22.6 | 87,209 | 22.8 | △33,525 | △27.8 | 266,362 | 24.1 |
| そ の 他 | 23,814 | 4.5 | 33,063 | 8.6 | 9,249 | 38.8 | 31,248 | 2.8 |
| 合 計 | 533,390 | 100.0 | 382,366 | 100.0 | △151,023 | △28.3 | 1,107,750 | 100.0 |

売 上 高

(単位：百万円)

| 区 分 | 前第3四半期 連結累計期間 (平成25年4月1日～ 平成25年12月31日) | | 当第3四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日～ 平成26年12月31日) | | 増減額 | 増減比% | 前連結会計年度 (平成25年4月1日～ 平成26年3月31日) | |
|----------|---|-------|---|-------|---------|------|---------------------------------------|-------|
| | 金 額 | 構成比% | 金 額 | 構成比% | | | 金 額 | 構成比% |
| 船 舶 海 洋 | 249,917 | 56.6 | 339,956 | 60.9 | 90,038 | 36.0 | 377,267 | 56.3 |
| 機 械 | 101,971 | 23.1 | 101,137 | 18.1 | △834 | △0.8 | 147,803 | 22.1 |
| エンジニアリング | 70,580 | 16.0 | 82,492 | 14.8 | 11,911 | 16.9 | 116,722 | 17.4 |
| そ の 他 | 18,805 | 4.3 | 34,348 | 6.2 | 15,542 | 82.6 | 28,274 | 4.2 |
| 合 計 | 441,275 | 100.0 | 557,934 | 100.0 | 116,658 | 26.4 | 670,067 | 100.0 |

受 注 残 高

(単位：百万円)

| 区 分 | 前連結会計年度末 (平成26年3月31日) | | 当第3四半期 連結会計期間末 (平成26年12月31日) | | 増減額 | 増減比% | 前第3四半期 連結会計期間末 (平成25年12月31日) | |
|----------|--------------------------|-------|------------------------------------|-------|----------|-------|------------------------------------|-------|
| | 金 額 | 構成比% | 金 額 | 構成比% | | | 金 額 | 構成比% |
| 船 舶 海 洋 | 1,089,723 | 70.5 | 931,300 | 66.3 | △158,422 | △14.5 | 807,101 | 70.4 |
| 機 械 | 108,106 | 7.0 | 109,260 | 7.8 | 1,154 | 1.1 | 95,302 | 8.3 |
| エンジニアリング | 331,594 | 21.5 | 349,501 | 24.9 | 17,907 | 5.4 | 231,803 | 20.2 |
| そ の 他 | 15,100 | 1.0 | 13,690 | 1.0 | △1,409 | △9.3 | 12,917 | 1.1 |
| 合 計 | 1,544,523 | 100.0 | 1,403,754 | 100.0 | △140,769 | △9.1 | 1,147,125 | 100.0 |